

目標達成計画

作成日: 平成 29年 5月 10日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23	意思疎通が取れない入居者であっても、意向を反映できる計画書づくりができていないか。職員側の意向や家族の意向の方が強くされていないか。	意思疎通がとれない入居者であっても、その方の意向がくみとれるケアができていて、介護計画書に反映できている。	カンファレンスでの意見が、入居者の意見を反映したものである。意思疎通がとれるように、入居者に対する理解を深める。家族の意見も大切だが、まず本人の意見を聞いてみる。	3ヶ月
2	33	現在の主治医・訪看と重篤化した時のことで話し合うが、ホーム側(家族を含め)の納得できる医療が提供してもらえない。	入居者や家族が安心して暮らせるホームを作る。	現在の医療機関と話し合い、改善ができないようであれば、ホーム側が望んでいる医療をしていただける機関を捜す。	3ヶ月
3	34	緊急時のマニュアルはあるが、本当に落ち着いてできるかは疑問である。	職員がどんな時にも、報告・連絡・相談ができ、緊急時の対応ができ、入居者を重篤な状態にさせない。	救急救命訓練を定期的受講する。緊急時の対応マニュアルを周知し、研修をすることで、すばやい対応ができるようになる。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。